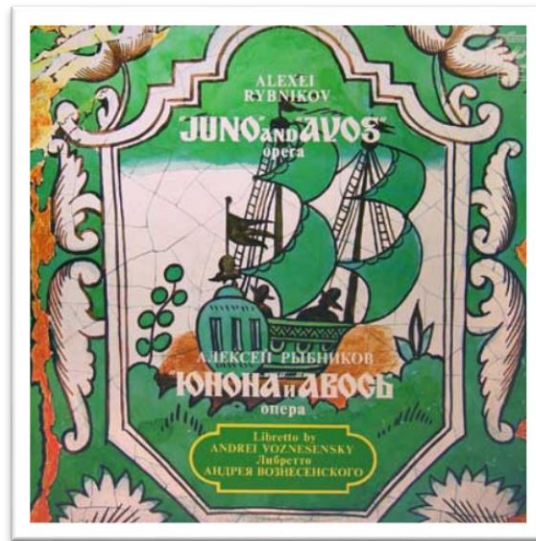


ロシア映画を観よう！2016. 07. 17

Встреча с театром-«Юнона и Авось»1981-2002



ロシア語通訳協会会員・通信会員、ロシア・ソ連の映画を愛好する皆さま！
大変お待たせいたしました。今年の映画会、第一弾は、この作品、ソ連初のロックオペラ、レンコム1981年初演、「ユノーナ号とアヴォシ号」*です。
上映に先立ち、ロシア語劇、“コンツェルト”の名演出家であり、早稲田大学で教鞭を取っておられる、ナターリア・イワノワ先生に、レンコムについて、マルク・ザハーロフについて、この舞台が創造されるに至った歴史についてお話いただき、その後参加者全員で作品の元になったアンドレイ・ヴォズネセンスキイのリブレットと3つのアリアを読む予定です。これによって、作品の理解が深まるだけでなく、とても楽しい時間になることをお約束します。また、イワノワ先生から鑑賞の手引きとなる8ページに亘るテキストを載っていますので、参加ご希望の方は、ぜひ事前準備として、このテキストを読んで来られますようお願いいたします。

日時：7月17日(日)13:30-18:00(16:10~18:00までは恒例のお茶会で、この映画について話し合います)

場所：ロシア語通訳協会

会費：一般3000円、通信会員2500円、正会員2000円（飲み物代、食べ物代を含みますが、お持ち込み、差し入れも歓迎です！）

※1981年の舞台、とりわけエピローグも比較のために鑑賞しますが、全体を通してみるのは2002年の舞台を映画化した2004年版となります。どちらも、主役のニコライ・リャザノフを演じるのは、レンコムの看板役者、ニコライ・カラチェンツェフです。